

Coherent Digital History Commons

Secret Files from World Wars to Cold War

英国諜報・外交機密文書 デジタル・アーカイヴ

第一次・第二次世界大戦から冷戦へー英国外交と諜報の舞台裏

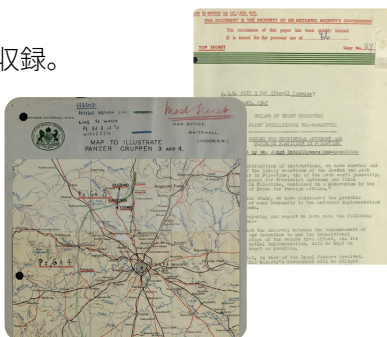
本アーカイヴは、英国国立公文書館に所蔵されている1873年～1953年の英国政府の秘密諜報・外交政策ファイルを収録したもので、とりわけ1930～40年代の資料が豊富です。融和政策の時代から第二次世界大戦、冷戦初期までの諜報、外交政策、国際関係、軍事史の研究に有用かつ貴重な資料がデジタル化され、閲覧可能です。

中核資料：PUSDファイル

- ・外務次官事務局（Permanent Undersecretary's Department: PUSD）は、外務省と英国諜報機関の連絡役を担い、1873年～1951年の諜報活動と外交政策への影響を記録。
- ・内閣府の文書や日々の無線諜報報告も収録。

研究分野への貢献

- ・20世紀の歴史
- ・英国の諜報活動とプロパガンダ
- ・軍事史・外交史・国際関係史
- ・第二次世界大戦と冷戦初期の分析



Coherent Digital History Commons: Secret Files from World Wars to Cold War Online Purchase

日本市場向け**特別価格**の設定がございます（完全買い切り・**ホスティング費用不要**）

※大学・学術機関向けIPアドレス接続／同時アクセス無制限でのご利用となります。
※お見積は最寄りの弊社営業員もしくは下記まで別途ご用命ください。

無料トライアル実施中!! 詳細お問い合わせは弊社まで

日本総代理店 **極東書店**



FAR EASTERN BOOKSELLERS
KYOKUTO SHOTEN LTD

<https://www.kyokuto-bk.co.jp>

〒101-8672 東京都千代田区神田三崎町2-7-10 帝都三崎町ビル
〒600-8357 京都市下京区柿本町579 五条堀川ビル
〒810-0073 福岡市中央区舞鶴1-3-14 小榎ビル

03(3265)7531
075(353)2093
092(751)6956

FAX (3265)7531
FAX (353)2093
FAX (751)6956

info@kyokuto-bk.co.jp

一次資料で読み解く20世紀の国際関係と諜報の歴史

英国国立公文書館に所蔵されていた4,500点の機密文書が、今回初めてデジタル化され、公開されました。これらの資料は、舞台裏の諜報活動がいかにして外交政策、世論形成、そして国家アイデンティティに影響を与えてきたかを明らかにします。

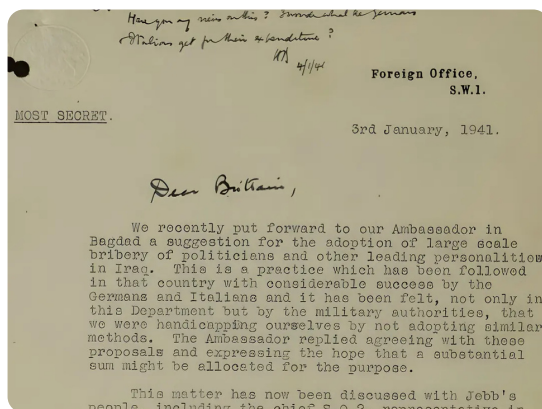
本アーカイブの中核をなすのは、外務省と英国諜報機関との連絡役を担っていた外務次官事務局（PUSD: Permanent Undersecretary's Department）の機密書簡です。これらの文書は、政治、プロパガンダ、そして日常生活が複雑に絡み合う様子を繊細に描き出しています。

147,000

ヨーロッパ、アジア、アフリカ、中東、
アメリカ大陸を対象とする文書の収録ページ数

1873-1951

19世紀後半から第一次世界大戦、第二次世界大戦、
そして冷戦初期に至るまでの歴史的展開を網羅



Letter suggesting policy of bribery

舞台裏の交渉と情報戦—外交史研究に不可欠な記録群

本アーカイブは、1873年から1951年にかけての外交文書、暗号通信、秘密報告書を通じて、国家間の交渉、同盟形成、戦時外交の実態を明らかにします。第一次・第二次世界大戦から冷戦初期に至るまで、各国がどのように国際秩序を構築し、対立を調整しようとしたかを、一次資料から読み解くことが可能です。

外交史研究者にとって、国家の意思決定過程とその背後にある情報戦略を検証するための、極めて貴重な資料群です。

情報統制と世論操作—国家による物語の構築を読み解く

この文書群は、政府がいかにしてメディアを活用し、国民の士気を高め、敵対勢力のイメージを形成し、イデオロギー的優位を確保しようとしたかを示しています。戦時下の宣伝活動、検閲、心理戦、そして冷戦期の情報操作まで、国家が物語を構築する過程を多角的に分析できます。

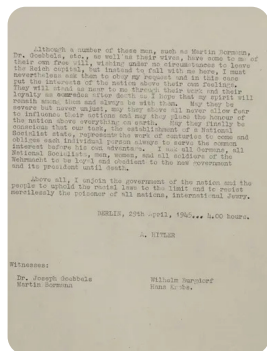
メディア研究・プロパガンダ研究に携わる研究者にとって、国家による情報戦の実像を探るための一次資料の宝庫です。

帝国の統治と揺らぎ—植民地政策の転換点を記録する

本アーカイブには、帝国主義の最盛期から脱植民地化の胎動期に至るまでの、植民地統治に関する報告書、現地情勢分析、政策文書が含まれています。各国が植民地支配を維持・再編・放棄する過程で、どのような政治的・社会的判断を下したかを、内部文書から検証できます。

植民地政策や脱植民地化運動を研究する方にとって、帝国の論理とその崩壊を読み解くための重要な資料群です。

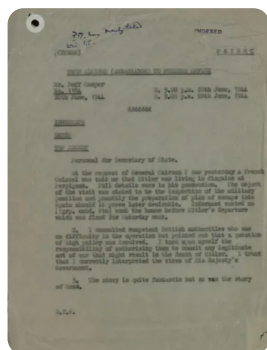
Secret Files from World Wars to Cold Warに収録される主な資料



合同情報小委員会（Joint Intelligence Sub-Committee）議事録 および報告書（CAB 56, 158, 159, 176）

ヒトラーの遺言、ドイツの秘密兵器、パレスチナ分割案、原子兵器・生物兵器に関する科学情報、ナチス・ドイツの脅威の拡大、英国における戦争捕虜およびドイツ国内の連合国捕虜、そして共産主義の拡散など、戦争と冷戦期の核心的課題を網羅。

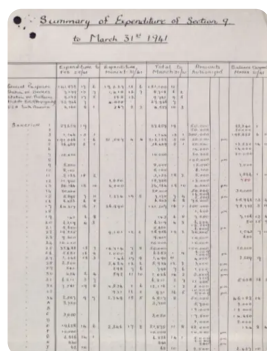
これらの文書は、戦略的意思決定、国際安全保障、科学技術の軍事利用、地政学的再編、そしてイデオロギーの対立に関する一次資料として、歴史学・国際関係論・軍事史・地域研究の分野において極めて重要な研究資源となります。



外務省次官室文書（Permanent Undersecretary's Department Papers）1873-1985（FO 1093）

本アーカイブには、ルドルフ・ヘスの拘束に関する機密情報、ノルマンディー上陸作戦（オーバーロード作戦）の計画文書、第二次世界大戦中にチャーチル宛てに送られた数千件の通信諜報、そしてドイツ・イタリア・日本に対する連合国の軍事作戦に関する往復書簡が含まれています。

1873年から1985年にかけての外交・安全保障・戦略的意思決定の舞台裏を記録するこの文書群は、戦争史、軍事史、外交史、情報史の研究において不可欠な一次資料です。



内閣官房長官私室の機密文書（1936-1952年） CAB 301

このシリーズには、MI5およびMI6の活動資金に関する記録、英国諜報機関の組織構造と予算配分、通信諜報（Signals Intelligence）、暗号解読、そして特殊作戦執行部（SOE）による「ヨーロッパを炎上させよ（Set Europe Ablaze）」作戦に関する文書が含まれています。

戦時下の情報戦略と国家安全保障の意思決定過程を明らかにするこれらの文書は、諜報史・軍事史・行政史・戦略研究において極めて重要な一次資料です。特に、英国政府がどのように情報機関を制度化し、戦略的に運用していたかを検証する上で、貴重な証拠となります。

学習支援ツールとしてのSecret Files from World Wars to Cold War

これまで機密扱いだった一次資料に触れることで、歴史への理解と興味を深めることができます。学習支援ツールとして、以下のような特別コンテンツが用意されています。

◆編集委員会メンバーによる特別寄稿エッセイ

各テーマに沿って執筆された専門的な解説文が、資料の背景理解を助けます。

◆組織・委員会・分科会のガイド

英国諜報機関内部の組織構造、同盟国および敵対国の情報機関、国際機関などを網羅した詳細な案内です。

◆人物ガイド

資料に登場する英国および海外の主要な軍事・政治・諜報関係者を紹介。彼らの役割や影響を通じて、20世紀前半の英国諜報史、外交政策、国際関係の新たな学習ルートを提供します。

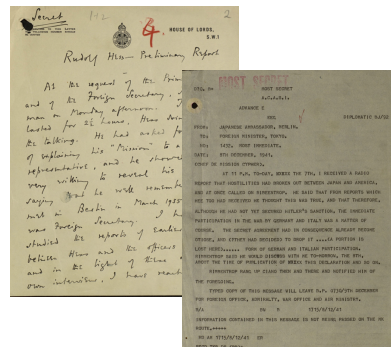
◆各シリーズの内容解説

収録された9つの文書シリーズそれぞれについて、英国国立公文書館現代コレクション部長スティーブン・トゥイッグ博士による、内容・テーマ・議論の要点をまとめた解説が付されています。

Secret Files from World Wars to Cold War編集委員会（Editorial Board）：

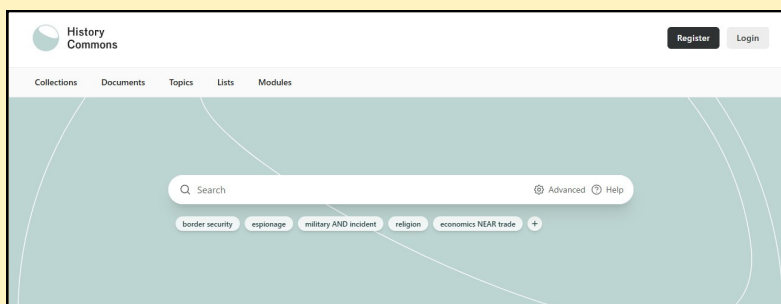
本アーカイブは、英国国立公文書館と情報史・外交史の第一線研究者による編集委員会の監修のもと、歴史的文脈と教育的価値を明確にする解説と補助教材が整備されています。

- Gill Bennett（元・英国外務書主任歴史官）
- Anthony Glees（バッキンガム大学）
- Michael Goodman（キングス・カレッジ・ロンドン）
- Matthew Jones（ロンドン・スクール・オブ・エコノミクス）
- Michael Morgan（ノースカロライナ大学チャペルヒル校）
- Denis Smyth（トロント大学）



Coherent Digital History Commonsとは？：

Coherent Digital History Commonsは、学術的価値が高いにもかかわらず、リンク切れや未整理のまま埋もれがちなコンテンツを、文脈化・安定化・恒久保存することを目的とした革新的なプラットフォームです。



History Commonsのおもな特徴

• コンテンツの安定化と保存

消失の危機にある一次資料や歴史文書を、AIによるインデックス作成と高速カタログ化によって保護し、永続的にアクセス可能な形で提供。

• 文脈化された学習・研究支援

単なるデータベースではなく、教育・研究に活用できるよう文脈を付与したコレクションとして構築。教材としての利用も可能。

• 高度な検索機能

ブーリアン検索、近接検索、トピック別ブラウズなどを備え、膨大な資料を横断的に検索・活用可能。

• 受賞歴のあるCommons Software

欧米の学术界で高く評価され、複数の賞を受賞したCommons Softwareを基盤に構築。ユーザーインターフェイスも直感的で使いやすい。

• 英国国立公文書館との連携

英国国立公文書館が所蔵する20世紀ヨーロッパ史の重要文書（例：F0371、F0800シリーズ）を収録したコレクションが、History Commonsとしてリリースされています。



株式会社 極東書店

〒101-8672 東京都千代田区神田三崎町2-7-10 帝都三崎町ビル

TEL: 03-3265-7531 FAX: 03-3556-3761 <https://www.kyokuto-bk.co.jp> E-mail: info@kyokuto-bk.co.jp